

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年4月11日～2016年4月17日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年4月20日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼行政境界線の通過点の閉鎖(15日)

・行政境界線の通過に使用されてきたタギロニ村の橋の通行が閉鎖された。ガリ地区長によれば、ハジンバ「アブハジア共和国大統領」は、エングリ橋を除く全ての通過点を閉鎖する意向。

### 【南オセチア】

#### ▼ロシアへの編入をめぐる住民投票に関する発言(1日)

・露メディアのインタビューで、ティビロフ「南オセチア共和国大統領」は、南オセチアのロシアへの編入をロシア政府に要請する権限を「南オセチア共和国大統領」に付与する憲法改正に関する住民投票を8月までに実施すると発言。「我々は戦略的パートナーであるロシアに政治的なリスクをつくりだすことを望まない。住民投票の後に南オセチアは、ロシアへの編入を検討するようロシアに要請するのに相応しい時期を待つ」と述べた。

・ティビロフ「南オセチア大統領」の発言について、ザルカリアニ外務次官は記者の質問に答え、ロシアが地域を事実上コントロールし、住民の大部分が追放されている限り、ジョージアの被占領地域でのいかなる住民投票も法的な効力を持たないとして、住民投票を非難。

・14日、プーチン露大統領は記者の質問に答え、ロシアは南オセチアによる住民投票の実施の計画に「反対できない」として、住民投票の根拠および質問の表現を考慮して検討すると述べた。

#### ▼露連邦院がロシア・南オセチア「国境」に関する合意を批准(11日)

・2015年2月に署名されたロシア・「南オセチア共和国」の「国境」に関する合意について露連邦院が批准を決定。

## 2. 外 政

#### ▼首相のアラブ首長国連邦訪問(11日)

・クヴィリカシヴィリ首相がクムシシヴィリ経済・持続的発展相とともにアラブ首長国連邦を訪問。ドバイ投資フォーラムに出席し、アル・ナヒヤーン・アブダビ首長国皇太子、マクトゥーム・アラブ首長国連邦首相、アラブ首長国連邦のビジネスマンらと会談した。

・「マ」アラブ首長国連邦首相との会談では貿易・経済関係の発展の見通しについて議論。経済、貿易、観光、投資誘致の方面において両国の協力を更に深める用意が表

明された。

#### ▼国連事務次長のジョージア訪問(12日)

・フェルトマン国連事務次長がジョージアを訪問し、ジャンネリゼ外相と会談。会談では、国連とジョージアの協力、国際情勢、ジョージアおよび地域における安全保障環境などについて議論された。「フェ」国連事務次長はジョージアの主権・領土一体性に対する国連の支持を確認。

#### ▼外相のフランス訪問(13日-14日)

・ジャンネリゼ外相がストラスブールを訪問し、ヤーグラン欧州評議会事務局長および欧州議会議員らと会談。「ヤ」欧州評議会事務局長との会談では、ジョージアと欧州評議会の協力、ジョージアの欧州統合、被占領地域の状況、国内改革などについて議論した。

#### ▼ロシアに対しサウチェンコ飛行士の解放を求める国会決議(14日)

・国会は賛成85名、反対0名でサウチェンコ飛行士およびその他の不法に拘束されているウクライナ国民を直ちに解放するようロシアに求める決議を採択。決議は自由民主主義者党が提出し、国会の全ての政治勢力が支持した。決議は、ロシアは「ウクライナ領土での犯罪容疑についてウクライナ国民を拘束、逮捕、告訴し、有罪判決を下す権利がない」として、ロシアの裁判所の判決を「不法である」と述べている。

#### ▼国防相のスロバキア訪問(15日-17日)

・ヒダシェリ国防相がブラチスラバで行なわれた第10回世界安全保障フォーラムに出席。

・「ヒ」国防相はスロバキアのキスカ大統領、ライチェク外相、ガイド国防相らと会談。5月にジョージアを訪問予定の「キ」スロバキア大統領とライチェク外相は、ジョージアのEU・NATO統合に対する支持を強調。

・その他、リンケヴィチ・ラトビア外相、ツルナダク・ボスニア・ヘルツェゴビナ外相、ガルブル・モルドバ外相、ヴァーシボウ NATO 事務次長、タウンSEND米国防次官補代理らと会談。

## 3. 内 政

#### ▼米国際民主研究所の世論調査(11日, 13日)

・米国際民主研究所(NDI)が2016年2月23日から3月14日にかけてジョージア国内の3900名を対象に対面調査を行なった世論調査の結果を発表。

・ジョージアは「正しい方向に進んでいる」20% (2015年8月～9月に行なわれた前回の調査では18%)、「変わっていない」36% (同31%)、「誤った方向に進んでいる」39% (同45%)。

- ・2012年10月以降、自身および家族の暮らし向きは「良くなった」10%、「変わらない」47%、「悪くなった」42%。
- ・現在のジョージア経済の状況は「良い」3%、「普通」29%、「悪い」66%。
- ・EU加盟を目指すジョージア政府の目標に「賛成」77%（前回の調査では61%）、「不賛成」14%（同21%）。NATO加盟を目指すジョージア政府の目標に「賛成」68%（同69%）、「不賛成」19%（同21%）。
- ・ジョージア外交は「欧米志向であるべきだ」14%、「欧米志向でありながら、ロシアとも良い関係を維持すべきだ」52%、「親露志向でありながら、EU・NATOとも良い関係を維持すべきだ」16%、「親露志向であるべきだ」5%。
- ・自身に最も近い政党は「いずれの党でもない」29%、ジョージアの夢・民主ジョージア党16%、統一国民運動15%、自由民主主義者党9%、労働党5%、ジョージア愛国者連合5%。
- ・もし明日国会選挙が行なわれたならば、「投票する」66%、「投票しない」34%。自身の投票先は「決まっている」34%、「決まっていない」61%。勝利すると思われる党は「分からない」43%、連合「ジョージアの夢」31%、統一国民運動11%、自由民主主義者党4%。投票する党は「分からない」38%、連合「ジョージアの夢」15%、統一国民運動13%、自由民主主義者党6%、労働党4%、ジョージア愛国者連合3%。

#### ▼元軍事警察長の起訴(12日)

- ・国家保安庁は、2012年5月にダウンバゼ元ジョージア軍陸軍大将がモスクワで射殺された事件に関して、殺害の指示を下した容疑で国外に滞在中のカルダヴァ元軍事警察長を起訴。「カ」元軍事警察長は囚人虐待について2014年に本人不在のまま9年の禁固刑を受けている。
- ・「ドゥ」元陸軍大将は、バトゥミの陸軍部隊の司令官であった2004年4月にアバシゼ・アチャラ自治共和国首長（当時）に従って中央政府の命令を拒否したため、翌5月以降、反逆罪などの罪で17年間の禁固刑に服していた。
- ・2008年の戦争の際にロシアは拘束したジョージア軍軍人との交換に「ドゥ」元陸軍大将の身柄を要求。以降、「ドゥ」元陸軍大将はモスクワに暮らし、報道によれば2010年にはロシア国籍を与えられた。
- ・「カ」元軍事警察長の弁護人は、ジョージア検察はロシアからの指示を受けてロシアの国益を守っていると批判。

#### ▼米國務省の人権報告書(13日)

- ・米國務省が2015年の人権報告書を発表。2015年のジョージアにおける最も重要な人権問題として、司法に対する圧力を含む司法の運営面での顕著な欠陥、疑問の多い司法人事、暴力・虐待事件に対する政府の対応の非一貫性を上げている。また、行政境界線付近での露軍による

ジョージア国民の恣意的な拘束、審理前勾留の濫用、女性や民族的・宗教的・性的少数者、障害者に対する社会的な差別の解消に向けた政府の努力の不足を指摘。TV局「ルスタヴィ2」をめぐる裁判など、メディアの自由に対する政府の干渉の疑いにも言及している。

#### ▼国会選挙の投票日(14日)

- ・5日にマルグヴェラシヴィリ大統領が国会選挙の投票日を10月8日に指定したことについて、クヴィリカシヴィリ首相は、投票日について異議はないものの、選挙期間を3か月とし、その開始日である7月8日に投票日を発表するよう大統領に求めた。

#### ▼治安当局による情報収集に関する法律をめぐる憲法裁判所の判断(14日)

- ・憲法裁判所は、通信会社のネットワークへのアクセスを治安当局に対して無制限に認めている現行法を違憲と判断し、2017年3月31日までに法律を改正するよう命令した。2015年初めに人権保護官およびNGOが憲法裁判所に法律の合憲性についての判断を求めていた。

#### ▼市長・地区長選挙に関する憲法裁判所の判断(14日)

- ・憲法裁判所は、現行の規則で市長・地区長選挙の候補者を指名できるのが政党のみで、独立の候補者が市長・地区長選挙に立候補できないことを違憲と判断。公正な選挙と民主主義のための国際社会、ジョージア青年法律家協会など6つのNGOが憲法裁判所に合憲性の判断を求めていた。

#### ▼EUの査証自由化に関する国会決議(16日)

- ・国会は、統一国民運動が提出した、EUの査証自由化に関する決議を満場一致で採択。決議は、EU・ジョージア協力における査証自由化の意義を強調し、査証自由化が被占領地域に暮らす人々の再統合に貢献すると述べている。また、民主的発展を促進し、ジョージアの欧州統合を保障するとともに、EUとの連合協定で定められた改革を迅速に実行し、査証自由化について国民に十分に説明するようジョージア政府に求めている。

## 4. 経 済

#### ▼フィッチによる格付け(11日)

- ・フィッチ社はジョージアの外貨・自国通貨長期発行体デフォルト格付け(IDR)をBB-とし、2015年から2016年にかけてのジョージア経済は安定的な見通しと評価。2016年の経済成長率を2.5%、2017年の経済成長率を4.2%と予測している。

#### ▼2016年3月の工業製品生産者物価指数(15日)

- ・国家統計局が発表。前月比0.9%上昇、前年同月比1.9%上昇。